

艶 本

(ガレランさんがえっちな本)
えっちな事をせざるを得ない本

18
未
満

六竜——
世界の形を保つための
庄にして元素を生む楔

まあとにかく色々
スゴい存在なのだ
：現在我が団には
その六竜のうち
何人が所属している

鳥とか投げてる
とにかくデカい奴
印象だったガレオン
もそのうちの一人だ



ビィの一件が
落ちているから
友好的になつて
ありがたい——

のだけでも

鶴首

ああ…おかえりなさい
特異点
お待ちしていましたよ

この人距離感が
バグってる



…あれ
これはまた…





ちよつと待つて
ガレランさん…

慰労
疲れたでしょう
からの祝福を授けます
からこちらに…

なんでそんな格好
で僕の部屋に…?



疑義

はて…?
他の女性団員がなにやら
水着を着ていたようですが…
それに做つたのですが…

…あれはその
なんか戦う上でその方が
強い人とかが居て…

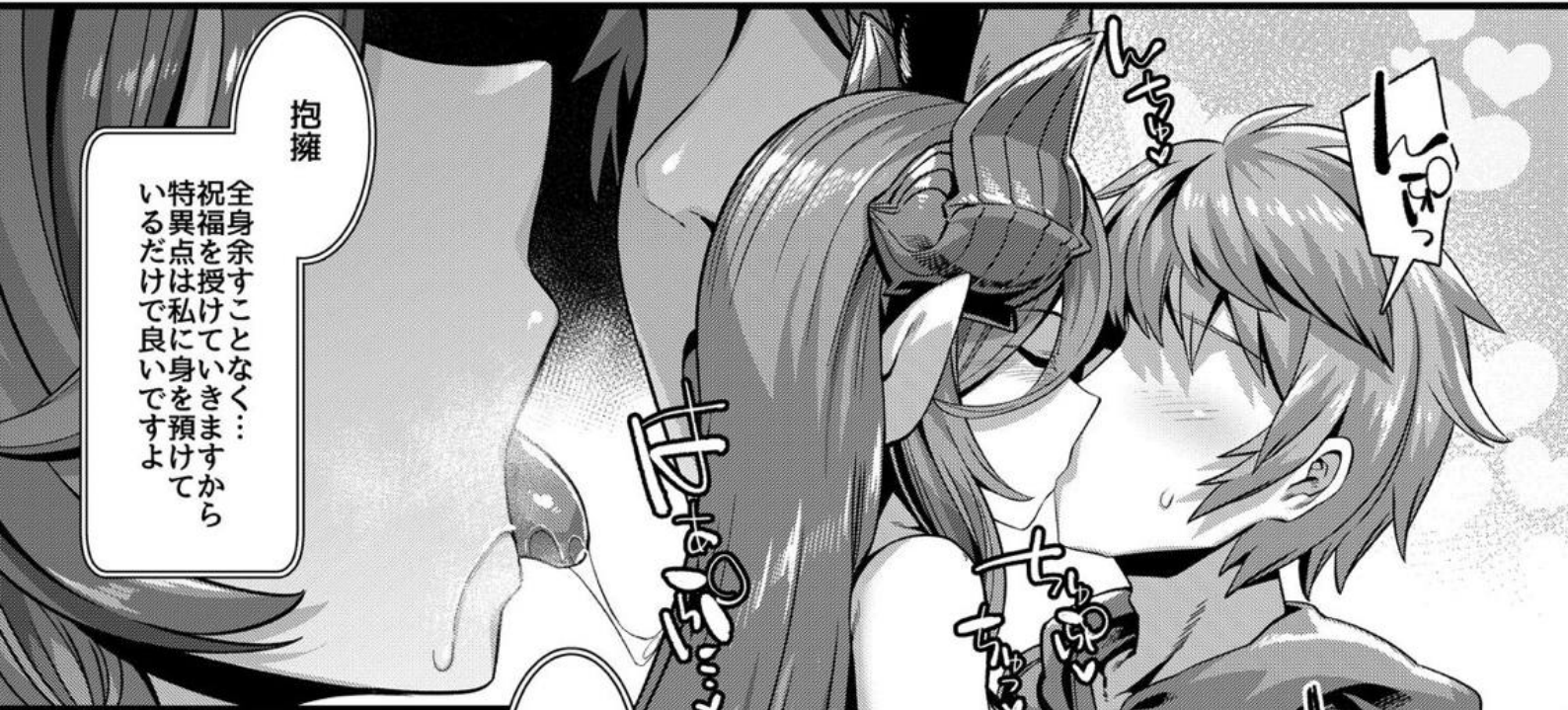
まあ別に做わなくて
良いですよ…



些事

そうでしたか：
まあ日課に支障が
無ければ問題
ありません

祝福



抱擁

全身余すことなく：
祝福を授けていきま
すから
特異点は私に身を預
けて
いるだけで良いですよ

遺憾

ああ…もうこんなに
固くして…
我慢させてしまった
ようですね…

めちやくちや強引に
押し切られてしま
い
今朝までい
つも結局朝まで
今日こそはなんと
したい…けども

いや…
そういう訳じゃ

精励

我慢は良くありません
今日も特異点が満足
出来るよう努めますね…♡

いや…今日はその
あんまり本調子じゃ
ないから大丈夫…
です…

剛健

止めて止まる人じゃ
無いんだよな…
反応してしまう僕も
だけ…

何を言いますか
強く…硬い
立派ですよ特異点

あくっ…はっ…
それ…はっ…



失念

ああ…特異点の子種を生み出す
陰囊にも祝福を授けねば
なりませんね…入念に…♡



兆候

先程よりも更に大きく…
手袋越しでもわかる程に
脈動が伝わってきます

そこ…同時に
責められるの…っ
やばいです…っ

歓待

射精が近いのですね…
ああ…では精を放つ鈴口
にも導きの祝福を…♡

射精るっ…!!

恵愛

ああ…特異点の子種…
愛おしい子達が
私の口の中に溢れて…♥

不羈

私の口で全て受け止めますので
存分に子種汁を解き放つて
ください…♥

今日も朝までコースは
逃れられなそうだし…
それならいっそ…

借問

この格好はどういう
趣向なのでしょう
特異点？

さっきの水着で
思いついたんですけど
気分を変えるために

違う格好にするの
も良いかなと

承允

なるほど…んっ♡
衣服とはそのような
役割も持つのですね…♡



相違

しかし…っ♥なんだか
いっつもの格好です
よりの…っ♥幾分激しい
ような気が…っ♥

違算

ああ…っ♥
私が特異点へ奉仕する
はずが…っ♥これでは逆に
なってしまう…っ♥

いつもして貰う
ばかりなんで…
たまにはね…

淫逸

しかし…♡これでは
私ばかりが…♡
気持ちよくなつて…♡
特異点に与えるべき
恩寵が…♡

違背

あつ…♡ああ…♡
世界の楔たる私が…♡
しまつては…♡
このような快感に溺れて

いいじゃないですか
人の姿でいる間

欲得

そんな事を言われては：
この身は…貴方の寵愛を
欲してしまいます…♥

歎願

ああ…っ♥
やめてください特異点
このままではっ♥
私は…もう…っ♥

んなこと言っただって
もう僕も
止められないんで…!!

絶頂——

観念

…これも特異点の
故でしょうか…
ならばもう少し
付き合ってもら
いますよ…♥

膣奥に
射精しますよっ!!

祝福



いいですけど…っ
開き直つたら行動が
急なんだよなあっ
この人は!!

遵従

人の器である間は…
そして特異点の前でだけは
この心に従いましょう…っ♥
お相手してくださいませね?

抗辯

命を継ぐ行為で…このような
快楽に溺れるなど…っ♥
許したの特異点では
ないですか…っ♥



それはまあ
そうなんで...だから
付き合いますよ!!

そいや...
それは勘弁
してください...っ

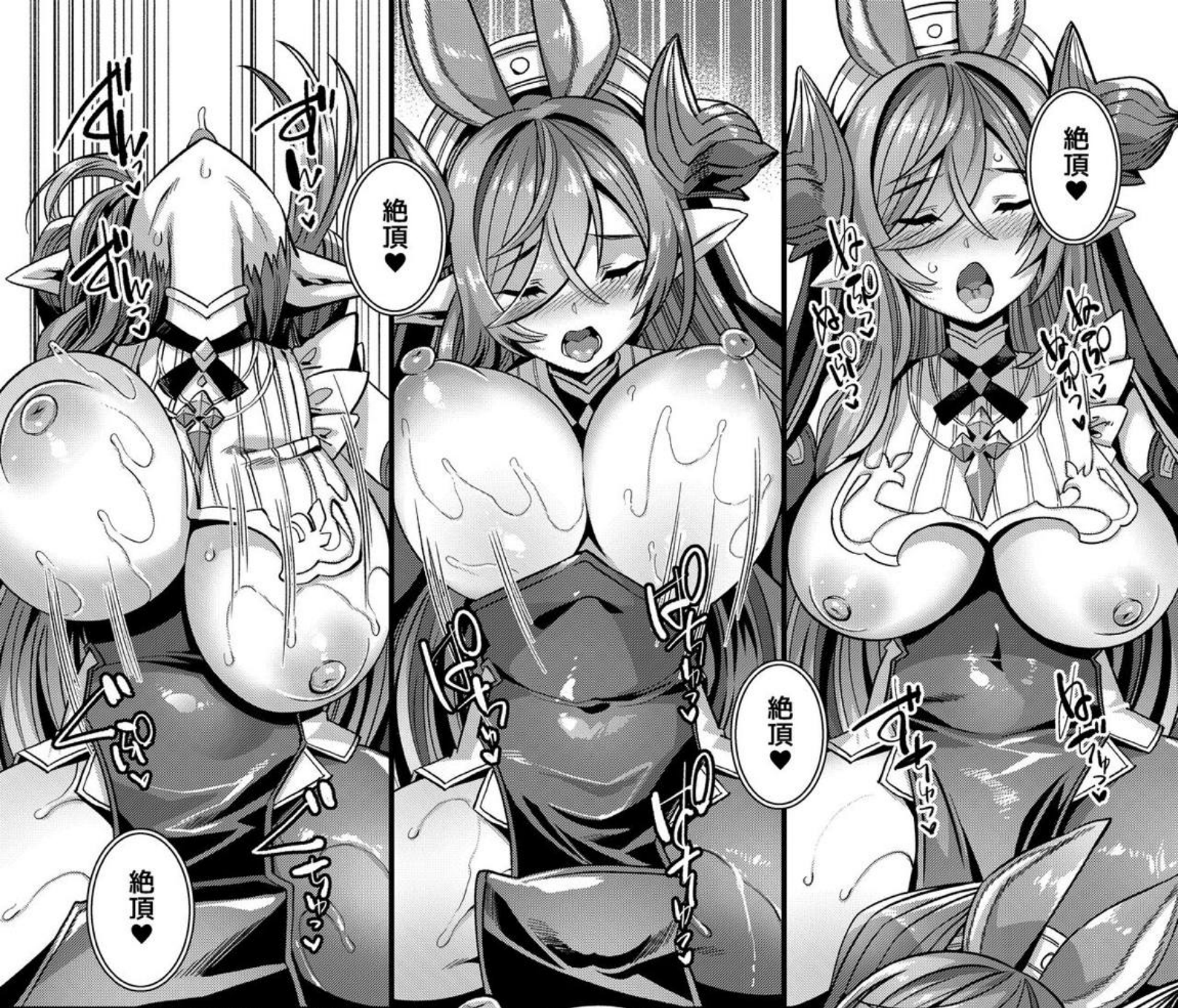
煩慮

ああ...っ♥
そのように奥を激しく突き上げ
られると...っ♥
快樂でこの器が保てなくなつて
しまいそう...っ♥

愛憎

そう言いながら...っ♥
加減はしてくれない
んですね...っ♥
特異点...っ♥





絶頂♥

絶頂♥

絶頂♥

絶頂♥



じゃあ僕も
そろそろ…っ

懇請

特異点…っ♥
もう…っ♥
これ以上はどうにか
な…っ…っ…っ
す…っ…っ…っ
♥♥♥

またこのまま…
射精しますよっ…!!

淋漓

ああ…っ♡
また溢れ出る程に大量に特異点の
子種が注がれて…っ♡
このヒトの器が孕んでしまったら
どうするつもりなのですか…♡

流石にそれは…
無いですよね？

未知

…ふふ♡
どうでしょうか…？
我ら六竜は理外存在…
まして相手が特異点と
なれば…

Atogaki ㊦

はじめまして or おひさしぶりです('∩')針金紳士です。

今回は久々にグラブルで同人誌。

描く予定は無かったんですが、ヲンさん見てたらヲンさん描きたくなってしまって…。

二次創作で漫画描くの自体が久々だったので、手探り感('∩')

あと、そもそもガレヲンさんというキャラクターの喋り方が独特なので、思ったより制作に時間がかかってしまいましたが、無事締切には間に合いました。

→たぶんSEKIROとかやってたせいでギリギリになった。

描きたい作品や描きたいキャラ、まだまだいっぱいあるけど、またしばらくは一次創作で描こうかなと思ってます。

ただまあ、今回みたいに突発的に描きたいやつ描くフットワークの軽さは持っていたい。

今回はC100が無事開催されている事を祈りながら、不安な気持ちで後書きを書いています。いつかまた安心してイベントが出来る世界になって欲しいですね。

この度は本作を手にとっていただきありがとうございました。

またどこかで！


2022.
7月の暑い日

針金紳士 ㊦

Okuzuke ㊦

発行者：針金紳士
発行日：2022/08/14

ご連絡等↓まで
harigane22@gmail.com

The image features a dark wooden plank background on the right side, which is a close-up of a wooden beam. On the left side, there is a soft, pinkish background with faint, stylized floral or leaf patterns. In the bottom left corner, a hand is shown holding a needle, with the needle pointing towards the center. The overall composition is clean and artistic.

針金紳士同盟

艶本

(ガレキマンがえっちなのは
えっちな事をせざるを得ない本)

針金紳士同盟

18
未満